

第27回 福島問題研究会 議事録 (ダイジェスト版)

日 時：平成 29 年 9 月 6 日 (水) 14:30~17:00

場 所：林野会館 305 会議室

出席者：(敬称略) 横堀、小林、中尾、橋本、郷、鈴木 (記録)

1. 前回議事録確認

公開する議事録からは、2-4 項) (MFBR 社関連事項) を削除することとし、それ以外は記述通り承認した。

2. 関連情報

2.1 化学工学会福島原発事故対策検討委員会からの提言 (Ver.6) (小林)

2017.9.7 付けの提言書の説明がなされた。内容としては化学工学分野がはたすべき役割等、適切に記述されているが、その先の具体的行動に関して見るべき進展はない。誤っている点があればご指摘いただきたい。指摘がなければこのまま承認したい。

2.2 東電福島廃炉技術開発推進室関連 (橋本)

新たな情報はない。

2.3 NDF 研究連携タスクフォース、「特殊環境下の腐食現象の解明」分科会関連 (鈴木)

メンバーにフィードバックされるような新たな動きはない。本委員会への提案・承認と研究実施グループ (東北大など) への委託手続きなどは実行されつつあるものと思われる。

2.4 IRID シンポジウム 2017 in いわき (8/3、いわき産業創造館) (横堀)

配布資料に基づき実施内容が紹介された。内容：第 I 部 IRID の紹介 (ビデオ)、燃料デブリの取り出し関連 (IRID)、第 II 部 IRID 研究開発プロジェクトの最新情報、大学等における学生たちの成果発表、1F に投入されたロボットの展示、など。

2.5 第 29 回原子力委員会定例会議 (8/29、中央合同庁舎) (横堀)

放射線利用の経済規模調査結果 (平成 27 年度) につき紹介された。事故前に比べエネルギー利用分野がほぼゼロに縮小されたが、それを埋め合わせることで期待される放射線利用分野の伸びが小さい。

2.6 NDF 報告書 「東京電力ホールディング(株)福島原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン 2017 について」 (小林)

従来から変わった注目点：NDF が東電に直接口出しできるようになった。NDF がプロジェクト全体の司令塔の役割を担うことがはっきりしてきた。ただし今後具体的な実行に当たる組織、人的構成等は相変わらずはっきりしない。

3. 現地視察計画（横堀）

見学・視察の行き先および日程を協議した。その結果、視察施設候補 7 箇所の中から、①福島第一原子力発電所（大熊町、双葉町）、および②楡葉遠隔技術開発センター（楡葉町）の 2 箇所を選定、12 月 3 日～ 5 日の中から 1 泊 2 日を選定（前泊して翌日朝から 1 日全日を視察に充て、夕刻に帰京）、いわき市を起点とすることを決めた。詳細の調整を横堀委員に一任した。

4. 次回予定

日 時：10 月 16 日（月）14：30

場 所：化学工学会会議室または応接室

予備日：会場が取れないとき、10 月 19 日（木）とする。

以上